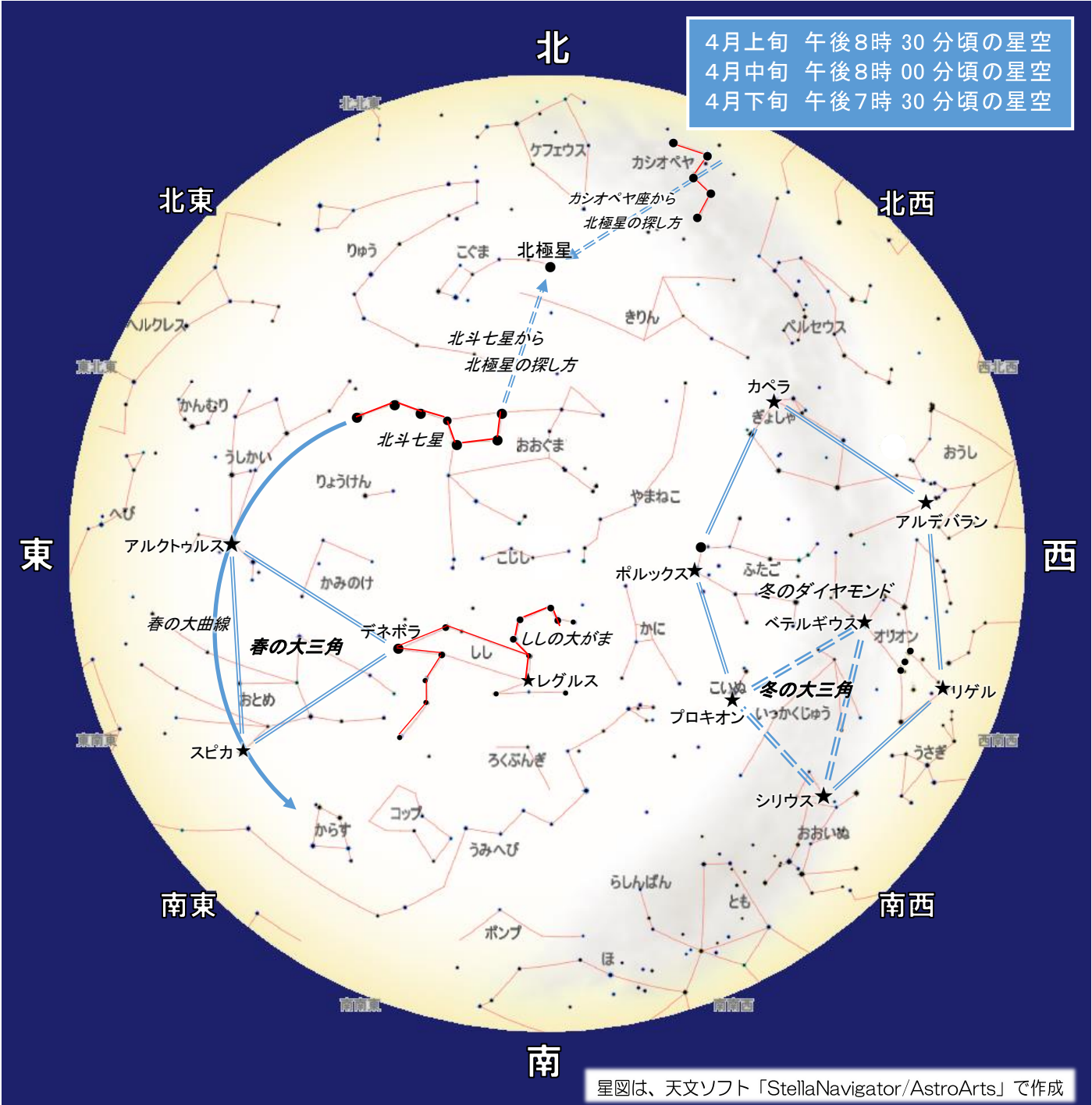


2024年 4月の星空案内



4月上旬 午後8時 30 分頃の星空
4月中旬 午後8時 00 分頃の星空
4月下旬 午後7時 30 分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成

【4月の星空】

まだ夕方の西の空には冬の星座が目立ちます。東からは春の星座がのぼってきます。北斗七星の柄の部分延ばすと、うしかい座の1等星「アルクトゥルス」、その先には おとめ座の1等星「スピカ」が見つかり、これを『春の大曲線』といいます（さらに延ばすと「からす座」）。南の空高く、太陽の通り道に輝くしし座の1等星「レグルス」は、小さな王様という意味です。『春の大三角』は、しし座のしっぽの2等星「デネボラ」、うしかい座の「アルクトゥルス」、おとめ座の「スピカ」を結びます。

【4月の天文現象】

4月は、惑星を夜中に見ることができません。夜明け前の東の空に土星・火星が姿を現します。4月の前半に、「ポン・ブルックス彗星」が5~6等で見えると予測されています。

また、4月9日（日本時間）の新月には、北アメリカ大陸で皆既日食が起こります。日本で皆既日食が見られるのは2035年です。